

学 会 録 事

1. 日本藻類学会第3回春季大会

本学会第3回春季大会は54年4月1日東京水産大学において、学会会長黒木宗尚、大会会長片田実の下に開催された。本大会は実に127名の参加を得て、35題の研究発表が活発に行われ、会を追うごとに本大会が盛況になっていることを示すものであった。大会終了後、懇親会が開かれたが83名もの参加者があり盛大であった。大会並びに懇親会の開催については会場の設営と運営に東京水産大学の方々大変お世話になった。御協力のお蔭と深く感謝しています。

大会参加者：赤塚伊三武、秋岡英承、秋山 優、浅井良紀、鯉坂哲朗、安達六郎、阿部英治、新崎盛敏、有山啓之、有賀祐勝、庵谷 晃、石川依久子、出井雅彦、伊東 宏、井上 勲、今田 克、岩佐清和、巖佐耕三、岩崎英雄、岩田靖宏、岩本康三、上山 敏、大貝政治、大久保晶子、大島海一、大谷喜一郎、大葉英雄、大野正夫、大房 剛、大森長朗、岡崎恵視、岡部作一、小川カホル、小川広男、小河久朗、垣内政宏、加崎英男、梶村光男、梶山裕美、片田 実、加藤久美子、川嶋昭二、喜田和四郎、鬼頭 鈞、木村 均、楠本守、国藤恭正、熊野 茂、黒木宗尚、高原隆明、小出悟郎、小林艶子、小林 弘、今野敏徳、斎藤俊一、斎藤実、斎藤雄之助、斎藤 譲、坂田能光、桜井武磨、佐々木 茂、佐藤重勝、佐藤哲寿、清水 晃、新村巖、須賀敏英、鈴木三喜、瀬戸良三、造力武彦、高木勝行、高田周三、高田英夫、高野秀昭、田中次郎、田中文夫、田中良和、田尻純仁、千葉尚二、千原光雄、土屋晴彦、津村孝平、寺尾公子、寺脇利信、鳥海三郎、中島 泰、長島秀行、長田敬五、中山 忍、中村 武、南雲 保、名畑進一、野崎久義、能登谷正浩、野呂忠秀、浜田真美、原 慶明、坂東忠司、廣瀬弘幸、福島悟、福島 博、福代康夫、福田隆明、藤原秀一、舟橋説往、F・ブランジーニ、堀口健雄、正置富太郎、増田道夫、松井敏夫、松山恵二、三浦昭雄、三代京子、水沢政雄、御園生 拓、宮原幸子、J・メリル、森 忍、諸星裕夫、山岸高旺、山本鎔子、ジルセ道子 山岡-矢野、横浜康継、吉崎 誠、吉田忠生、吉武峯紀子、渡辺 信、綿貫知彦。

2. 評議員会報告

第3回春季大会当日(12:00~13:30)、評議員会が開かれ、下記の件が報告及び審議された。

出席者 会長：黒木宗尚。評議員：有賀祐勝、千原

光雄、廣瀬弘幸、岩崎英雄、川嶋昭二、喜田和四郎、鬼頭 鈞、小林 弘、松井敏夫、大森長朗。編集委員長：吉田忠生。幹事：増田道夫。

(1) 会員状況(54. 3. 24現在) 普通会员467名、学生会員46名、団体会員40名、賛助会員13名、外国会員51名(定期販売：国内40冊、外国9冊。交換寄贈：国内4件、外国10件)。

(2) 54年度本学会総会並びに懇親会 10月2~4日に広島大学で開かれる日本植物学会を機に、本年度総会並びに懇親会を10月2日夕方に開催の予定で、その案内は後日(8月下旬頃)行われる。

(3) 春季大会の継続と会期について 本大会は第3回目を迎えて益々盛況になり、永続する大会として毎年開催し、学会の行事として会則に盛り込むこと及び講演数の増加に伴い会期を2日間として参加者全員が全ての講演を聞けるようにした方がよいとの提案について審議された。その結果、来年度も開催することは諒承されたが、永続する大会として会則に盛り込むには時期尚早との意見が出された。また会期については来年度は試行的に2日間とすることが諒承され、会場は東京水産大学に依頼することになった。

(4) 春季大会の経費について 本大会の経費をより完全な独立採算制とすることの提案が行われたが、講演要旨印刷組版代を本大会で負担することに問題があるとの意見が出され、今後事務局で検討して行くことになった。

(5) 総会を春季大会時に開催することの是非について この件は前事務局からの懸案事項であったが、春季大会の参加者が秋の総会出席者を上回っている事実を踏まえ、来年度は春季大会時に開催することを今秋の総会で審議することが諒承された。

(6) 会費値上げ及び山田幸男先生記念事業基金の用途について これらの件については今後継続して審議されることになった。

3. 編集委員会報告

昭和54年3月31日 春季大会前日(3時~6時)に編集委員会を開き次のような件につき審議した。

(1) 論文体裁について、すでに26巻1号から変更した部分もある。キーインデックスワードを入れることとし、28巻から実行する。

(2) 投稿案内について、いくつかの点を変更し、英文案内をつけて3号に入れることとした。

(3) 論文審査は審査員の間で審査基準の差を少なくする様に話し合った。論文は英文・和文共同一基準で審査する。雑録的なものは委員長判断を主として、できるだけ採用することとした。

その他正誤表は、重大な誤りがあった場合だけとすること、総説を毎年1篇程度掲載する様努力することが話われた。

新 入 会

住 所 変 更

Sydney, 2006, New South Wales, AUSTRALIA

退 会 渋谷三五郎, 杉山瑛之, 多湖実輝, 谷 修一, 中原 皓, 西田輝己, 野上和彦

本会会員 瀬木紀男氏は、去る昭和54年3月8日逝去されました。謹んで哀悼の意を表わします。

日本藻類学会

本会会員 生駒義博氏は、去る昭和54年4月2日逝去されました。謹んで哀悼の意を表わします。

日本藻類学会

賛助会員

社団法人北海道水産資源技術開発協会 060 札幌市中央区北3条西7-1 水産会館内
 海藻資源開発株式会社 160 東京都新宿区新宿1-29-8 財団法人公衆衛生ビル内
 協和醸酵工業株式会社農水産開発室 100 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル
 全国海苔貝類協同組合連合会 108 東京都港区高輪2-16-5
 K.K. 白寿保健科学研究所・原昭邦 173 東京都板橋区大山東町32-17
 浜野顕微鏡商店 113 東京都文京区本郷5-25-18
 株式会社ヤクルト本社研究所 186 東京都国立市谷保1796
 山本海苔研究所 143 東京都大田区大森東5-2-12
 弘学出版株式会社 森田悦郎 214 川崎市多摩区生田8580-61
 永田克己 410-21 田方郡葦山町四日町227-1
 全漁連海苔海藻類養殖研究センター 440 豊橋市吉田町69-6
 神協産業株式会社 742-15 熊毛郡田布施町波野962-1
 秋山 茂商店 150 東京都渋谷区神宮前1-21-9

正 誤 (Errata)

	頁 (Page)	行 (Line)	誤 (For)	正 (Read)
Vol. 26	145	3 left	<u>glutamate</u>	glutamine
	155	19	(1905- <u>198</u>)	(1905-1978)
	156	34 left	<u>1661</u>	1961